

## 本久寺で平和の鐘つき

8月6日、上京区の本久寺で、「平和の鐘をつく会」が開催されました。境内いっばいに様々な世代の方々が40人ほど集まりました。

世話人の古武博司さん、こくた恵二衆議院議員、発起人の松田豊子さんからそれぞれご挨拶があった後、参加者は平和への思いを込めて鐘をつきました。

この会は、20回目になるとのこと。



「殺すなかれ、殺されるなかれ、殺すのを許すなかれ」という仏教の教えと、戦争はしない、武力行使はしない、という日本国憲法の本質とは一致する、というご住職のご厚意でこの会が始まったそうです。

ウクライナではまだ戦争が続いており、日本が「新しい戦前」の道に進もうかとしている今日、78年前、原爆投下で亡くなられた人たちのご冥福を祈り、日本と世界の平和への願いを込めての今年度の鐘をつく会は、とても意義深いものになりました。京都新聞の記者さんも参加されていて、翌日の京都新聞にも掲載されました。



## なくそう! 日米軍事同盟・米軍基地 2023年日本平和大会in鹿児島 11/11(土)・12(日)

大軍拡・『戦争国家』づくリストップ! 軍事費を暮らしに回せ  
憲法9条活かした平和外交で、非核平和のアジアを  
国連憲章守れ! ロシアは侵略中止せよ! 一刻も早い停戦を



憲法いかにせと訴えた若者憲法デモ=6月11日、東京都内

「戦争準備ではなく平和外交を」と訴えたピースパレード=5月21日、東京・日野市

### 戦争準備やめろ! の声を鹿児島へ

沖縄・九州で軍事基地・演習強化が激化しています。鹿児島では馬毛島の米軍・自衛隊基地化、奄美大島への敵基地攻撃部隊の配備、鹿屋基地への米軍無人偵察機の配備が進められ、住民が反対の声を上げています。鹿児島で行われる日本平和大会に「戦争準備やめろ!」の運動と思いを持ち寄りましょう。最終日はパレードも!

### 平和と憲法を守る全ての力を

岸田政権が目指すのは、日米軍事同盟(=日米安保条約)の下で自衛隊が米軍の戦略に従って他国を先制的に全面攻撃できるようにすることです。その行く先は日本全土の戦場化です。そのため防衛費に今後5年で43兆円を注ぎ、一方で生活予算を削り、増税を行おうとしています。この動きを止め、平和と憲法を守る全ての人の力を日本平和大会に集めましょう。

### 平和の対案を示そう

ロシアによる残虐なウクライナ侵略を止めるには、軍事同盟強化ではなく、ASEANのように全ての関係国が参加する枠組みをつくり、紛争の平和的解決への努力が必要です。日本は被爆国政府として核兵器禁止条約に参加し、日本国憲法を持つ国として東アジアを非核平和の地域へと転換する先頭に立つべきです。

憲法にもとづく平和の対案を示し、日本をアメリカの戦争政策に組み込む根源にある日米安保条約の廃棄を求める世論を広げ、日本平和大会in鹿児島に運動を持ち寄りましょう!



馬毛島・葦山港で基地建設中止を訴える人たち  
=2020年12月、鹿児島県西之表市

日本平和大会が開催されます。オンラインでも参加できます。興味をお持ちの方は京都平和委員会までご連絡ください。

日本平和大会に向けて、九州の平和委員会が担当する連鎖学習会が開催されています。これから開催される学習会は以下の通りです。

9月22日(金) 担当=佐賀

佐賀空港のオスプレイ配備問題の局面とたたかい

10月27日(金) 担当=宮崎、福岡

新田原と築城基地の増強とのたたかい  
いずれも午後7時から9時まで、オンラインで開催です。

[prekyusyuu@j-peace.org](mailto:prekyusyuu@j-peace.org) まで、件名

に「九州連鎖学習会参加希望」と記載の上、お名前、電話、メールアドレス、「京都平和委員会」と記載の上お申し込みください。

# 2023 原水爆禁止世界大会開催



8月7日から9日までの予定で、原水禁世界大会が長崎で開催されました（写真は開会集会）。

京都からは、井坂博文団長を先頭に104人（子ども4人）が現地参加、オンラインでは延べ113名の参加がありました。

あいにく台風が九州直撃との予報で、9日に開催予定だった閉会集会は8日の午後に繰り上げ、8日終日を使って予定されていた分科会は、午前中のみ短縮されるという予定変更がありました。京都代表团は、新幹線が動かなくなる可能性もあったため、8日の午後、閉会集会に参加せずに帰らざるを得ませんでした。

## 市民一人一人の取組みが平和を作る

京建労北支部書記 河上淳也

原水禁世界大会に初めて参加してきました。開会式ではウクライナのユーリイ・シェリアゼンコさんが「キウウが攻撃を受けたとき私はシェルターに逃げた。ロシアの人に経験してほしいとは思わない。正義の戦争は無い。核兵器禁止条約は、暴力を使うことなく変化をもたらすことができる」と双方に武器を置くよう訴えていたことが特に印象に残っています。

2日目に参加した分科会②「非核平和のアジアと日本」では、沖縄を始め日本やアジア各地から平和運動の報告を聞いてきました。秋田県のイージス・アショア建設反対運動に携わった渡辺さんは、「運動を広げるには細やかな学習会が大事。一つに集まって勉強するのではなく、少人数の学習会を複数開催する。一人一人が意見や感想を言いやすくなるから。そして、大きな運動の時に初めて一つになると大きな力になる」と話されていて我々の組織建設にも通じるどころがあり大変参考になりました。

原水爆禁止署名運動の原点を忘れずに大国の動向や大衆世論に惑わされることなく、世界中の平和を愛する市民一人一人の弛まぬ努力が今日まで続いているのだと確認できました。明日の組合運動に携わる一人として、大変元気を貰える2日間でした。

## <ちょっと長めの編集後記>

夏に体調を崩してしまい、編集が滞ってしまいました。早く原稿をいただいていたのにお届けできずに申し訳なかったです。これを書いているのは9月9日で、今日と明日は日本平和委員会の理事会が開催されています。

今日は千坂事務局長の基調報告の後、23名から各地の報告がありました。東京では横田基地周辺での水質汚染の問題。岐阜でも同様に飲料水として使っている水が汚染され、子どもたちへの影響を懸念しているとの話。佐賀空港へのオスプレイ配備や、岩国での交付金と自治体の関係、自衛隊への名簿提出問題も各地から。東富士演習場の様子も静岡や山梨から報告されました。自衛隊では報道されていないいじめ問題もたくさんあって、相談窓口になっているというお話もありました。

戦争準備が進められる一方で、それを許さない私たちの運動も工夫されて進んでいることを感じます。各地の経験に学んで京都でも頑張らなくちゃ……。

地域、団体（個人でも）の取組みをお知らせください

（ [miyakowasure@hera.eonet.ne.jp](mailto:miyakowasure@hera.eonet.ne.jp) 太田啓子）

